



防災について考えよう

紅葉も終わりに近づき雪待月もあとわずかです。保護者・地域の皆さまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今月の5日は「世界津波の日」でした。平成27年12月、国連総会において、毎年11月5日は「世界津波の日」と制定されました。この日が「世界津波の日」とされたのは、安政元年（1854年）11月5日、安政南海地震による津波がいまの和歌山県広川町を襲った際、濱口梧陵が稲むらに火をつけ、津波から逃げ遅れた村人を高台へ導いて、多くの命を救った逸話「稲むらの火」の故事にちなんだものです。和歌山人の私たちは、「世界津波の日」制定の由来となった濱口梧陵の精神を学び、次世代に過去の災害の教訓を伝えることで、津波防災意識の向上につなげていくようにしたいです。

今年度本校では、「世界津波の日」に幼稚園と合同の地震避難訓練を行いました。大野小学校は、避難場所に指定されていて津波の心配は少ないですが、発生時に自分がどこにいるか分かりません。毎回、緊張感をもって訓練しています。子どもたちは、避難時の注意事項を、「お・は・し・も」の合言葉で覚えています。今回は、少し話し声が聞こえた時間はありましたが、押さない、走らない。しゃべらない、もどらないの4事項を守って上手に避難できました。

近年は、地震だけでなく台風等の自然災害による大きな被害が全国各地で起きています。

- | | |
|-------------|---------|
| 1995年1月17日 | 神戸淡路大震災 |
| 2011年3月11日 | 東日本大震災 |
| 2011年9月2～4日 | 紀伊半島大水害 |
| 2016年4月14日 | 熊本地震 |
| 2018年6月18日 | 大阪府北部地震 |



和歌山県では、約100年周期で発生すると想定されているM8クラスの「東海・東南海・南海3連動地震」と千年に一度、1万年に一度と想定されているM9クラスの「南海トラフ巨大地震」の震度、津波の浸水等を基に、市町・学校等で訓練を行っています。各家庭におきましても、以下の「家族の約束」をよく話し合っ、いざという時に備えてください。

家族の約束

- ①家族が集まる避難場所を決めよう
- ②家族を信じ「津波てんでんこ」を実行しよう
- ③一人一人が率先して避難し、避難行動を誘発しよう



お子さんが、大野小学校にいない時に大地震が発生した場合、どこへ避難するのかを決め、避難カード等を書いておきましょう。特に、普段遊びに行ったり、習い事に行ったりする場所を想定して避難先を決めるといいと思います。そして、家族がいっしょにいなくても、各自が迷うことなく決めた避難場所に避難するように約束しておきましょう。災害では、「自分の命は自分で守る」という意識が大切です。



読書の秋です！ 図書室・図書館に行こう！

低学年の子どもには、「読んで面白い、楽しいと思える本」がおすすめです。大人の目線からだと、「名作や良作を読んで欲しい」と思いがちですが、まずは「本は面白いんだ！」と子どもに感じてもらうことが、読書を好きになる第一歩です。中学年の子には、物語だけでなくいろんなジャンルの本に出会ってほしいです。高学年は、伝記にチャレンジするのもいいですね。小学生に、おすすめ・人気の本を一部紹介します。

低：100かいだてのいえシリーズ、ヨシタケシンスケさんの本、ひみつのきもち銀行

中：さんねんないきもの事典、火曜日のごちそうはヒキガエル、レンタルロボット、ジュニア空想科学読本

高：重松清さんの本、一瞬の風になれ、クラスメイツ、5分後に意外な結末シリーズ、ワンダー